



**第49号**  
 発行日 平成30年8月1日  
 発行所 公益社団法人能代市  
 シルバー人材センター  
 啓発広報委員会  
 能代市青葉町5-37  
 電話(0185)54-4688  
 ファックス兼用 54-6037



小型移動式クレーン運転技能講習



さつき植替・剪定講習



よい花を咲かせるためのコツをわかりやすく教えてもらい、とても参考になった。(アンケートより)



## 平成30年度定時総会を開催

平成30年度定時総会が、6月8日(金)プラザ都に於いて行われました。この1年間に亡くなられた会員の方々へ黙祷を捧げた後、青山理事の「開会の言葉」で始まり、小林理事長より「会員の減少に悩まされ続けてきたが、ようやく300人台まで回復した。仕事では派遣労働への理解がようやく民間にもなじんできた。」との挨拶がありました。続いてご来賓の齊藤能代市長様、渡辺能代市議会議長様並びに古宇田能代公共職業安定所長様3氏よりご祝辞を賜りました。その後、議長に村上祐二氏を選出し資格審査確認(委任状など含め221人出席)後、議事に入りました。



第1号議案、第2号議案、第3号議案は原案通り承認可決されました。報告事項では普及啓発と会員の拡大、就業機会の拡大と資質・能力向上、安全・適正就業の推進など重点6項目、入会説明会、技能講習会、事故防止に向けた安全パトロール等、各種取り組みへの説明がなされました。

議長解任挨拶の後、長岡理事の「閉会の言葉」で総会は滞りなく終了しました。

総会後は能代税務署 清水智氏の「消費税の改正について」と題した講話があり、軽減税率制度について理解を深めました。



今年も、岸部理事が丹精を込め、満開の花を咲かせた「さつき」大鉢が演壇を飾ってくれました。いつもありがとうございます。

レポート 啓発広報委員 工藤直樹

## 小林理事長あいさつ



私共シルバー人材センターは、あのリーマンショック以来の長びく不況に苦しんでまいりました。わけても会員の減少には本当に心悩まされてまいりましたが、ここに来てようやく300人台まで回復し何かしら明るい気持ちになっております。これも会員の皆さんと事務局の一体となった頑張りのおかげと感謝しております。今年度はもっと多くの人たちに入会していただき、賑やかなシルバーになればと思っております。

一方、仕事に関しましては、行政関係の職種が一つ二つと狭まっておりますが、派遣労働への理解が、ようやく民間にもなじんでまいりましたので、今後は派遣労働が中心となって行くものと考えています。その為にも会員の確保は喫緊の課題です。

健康で働く意欲を持ちながらもその機会に恵まれず、出番を待っているかも知れない人たちの掘り起しに会員、事務局が一体となって知恵をしばり、力を入れてまいりたいと考えております。

その一つとして、シルバーパートナー(仮会員)登録制度を始めました。希望にマッチした仕事があった時に、正式に入会していただく、というものです。せっかく入会説明会においでいただきながら入会に至らなかった方たちも、これを機にシルバー会員となっていただくことを期待しております。

もう一つは、夫婦で入会していただく方には一人の方の会費を半額とするものです。現在はまだ6~7組ですが、少しでも入会しやすいシルバーになればと思っております。

高齢化が進み、人口の減少が続く若い人たちの姿が少なくなって行くそれぞれの地域において、シルバー人材センターが担う役割とその責任は、決して軽いものではないはずです。

私たちはこれからも行政と力を合わせて住民の福祉の向上に寄与し、利用者に喜ばれる仕事を通じて、会員の生きがい作りの探求を進めて行かなければなりません。

一人はみんなの為に みんなは一人の為に

会員一人ひとりが互いに心を開きあい、力を出し合ってより良いシルバー人材センターを作り上げて行きたいと思っております。

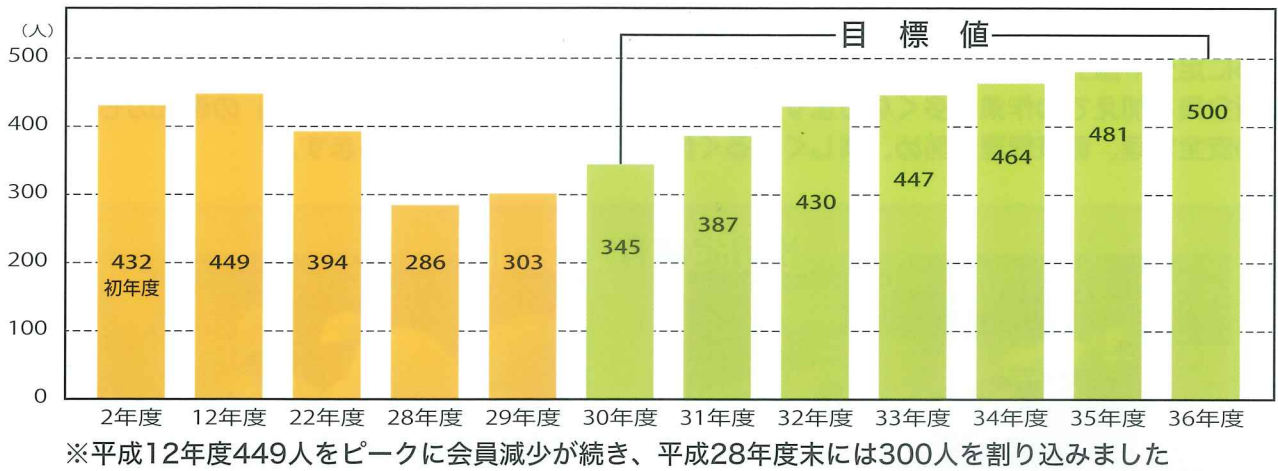




# 広げよう! シルバーのわ



少子高齢化による労働力人口の減少が進む中、全国シルバー人材センター事業協会による「会員100万人達成計画」が策定されました。平成29年度末の会員数は全国で71万人。今年度より7ヵ年計画で会員拡大に取り組みます。当センターの会員数の推移と目標値は下記のとおりです。一緒に活躍する仲間を増やしましょう。



北 羽 新 報 2018年(平成30年)7月11日(水曜日) の記事▼

- まだまだ元気だから働きたい、いろんなことにチャレンジしたい
  - ・ 植木の手入れ ・ 大工 ・ 左官
  - ・ 障子、襖の張替え ・ 宛名書き ・ 掃除や買い物
- 気の合う仲間を見つけない
  - ・ 青葉農園(農作業) ・ ひばりの会(カラオケ)
  - ・ 書道サークル ・ 旅行愛好会
  - ・ グラウンドゴルフ同好会
- ちょっとしたお金が欲しい
  - ・ 趣味に ・ 夫婦で旅行 ・ 孫にプレゼント
  - ・ 自分へのご褒美

### 働き手掘り起こし 市シルバー人材センター

#### 会員登録制度を創設

#### 会費は仕事に就いてから

#### 会員500人達成目指す

シルバー人材センターは、高齢者の就業機会を創出し、生き生きとした生活を送ることを目指しています。今年度は、平成29年度末の71万人を目標として、今年度は75万人、平成30年度末には80万人、平成31年度末には85万人、平成32年度末には90万人、平成33年度末には95万人、平成34年度末には100万人を目標としています。

新規にシルバー人材センターに登録する方には、入会費として1000円を徴収いたします。この費用は、入会後1年間の活動に充てられます。また、活動中に発生する経費もこの費用から捻出いたします。

登録後は、毎月1・3木曜日午後1時30分からセンター会議室で開催しています。

## あなただけのシルバーライフをつくってみませんか。

入会説明会は原則、毎月第1・3木曜日 午後1時30分からセンター会議室で開催しています。

- ・ 年会費の夫婦割引実施中 (一人分が半額になります)
- ・ シルバーパートナー (仮会員) 募集中

(希望の仕事があった時点で入会)

高齢者就業促進の観点から、高齢者の就業機会を創出し、生き生きとした生活を送ることを目指しています。今年度は、平成29年度末の71万人を目標として、今年度は75万人、平成30年度末には80万人、平成31年度末には85万人、平成32年度末には90万人、平成33年度末には95万人、平成34年度末には100万人を目標としています。

登録後は、毎月1・3木曜日午後1時30分からセンター会議室で開催しています。



## 安全推進委員会だより

秋田県シルバー人材センター連合会主催の平成30年度安全就業推進大会の席上、安全標語入賞者の表彰も行われ、当センターの大塚錦作さんが昨年の優秀賞に続き入賞しました。大塚さんは平成15年の最優秀賞を含め5度の入賞を果たしています。これも偏に安全への意識の高さの表れではないでしょうか。

**入賞作品** 慣れと油断が事故のもと 互いに声かけ 安全作業

平成29～31年度全国統一スローガン  
**事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな**



大塚錦作さん

- ・高所作業や刈払い作業時にはヘルメットを着用しましょう。自分の身の安全のため、仲間の安全のために足元や頭上確認をお願いします。
- ・新会員を加えての作業も多くなります。共に働き、共に助け合う「共働・共助」の理念のもと、作業の安全管理、健康管理に努め、楽しく明るく仕事ができるようお願いします。

### 松剪定講習(4月26日)



会員講師から講習前の座学



講師の技を見る眼が真剣!

### 小型移動式クレーン運転技能(6月18日～21日)

(高齢者スキルアップ・就職促進事業)

テキストの厚さに度肝を抜かれたが、時間が経過するにつれて理解が深まり、他の受講者からも質問や感嘆の声が聞かれるようになった。講話は実際の事故例などを盛り込んでいたので臨場感が溢れた内容であった。実技では要所要所での注意点や重要事項の説明がありとても分かりやすく楽しく講習ができた。(アンケートより)



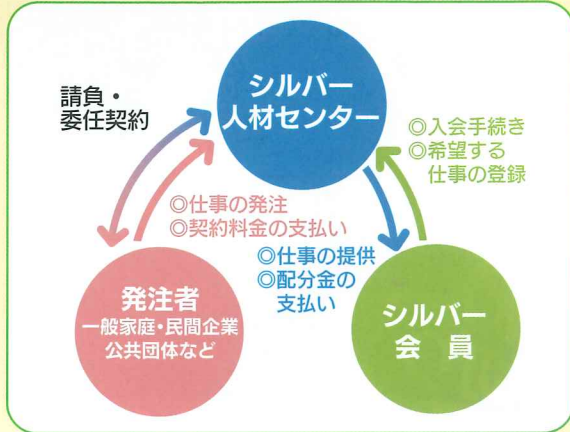
### 調理補助員講習(7月4日～5日)(高齢者活躍人材育成事業)





# シルバー人材センターのしくみ

## 請負・委任



発注者は会員に指揮命令ができません。  
発注先の従業員と混在しての作業もできません。



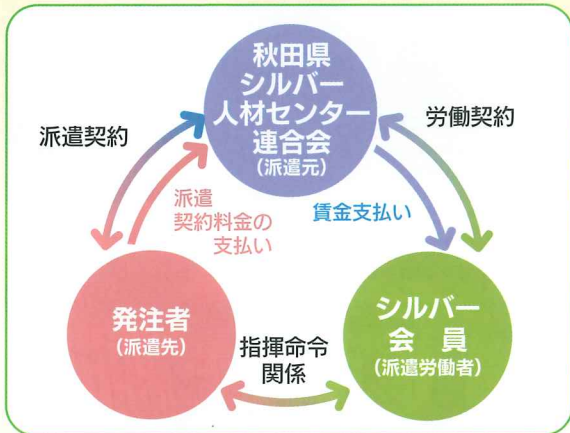
◀ 芝刈り



### 家事援助▶

(掃除や買い物、  
食事の支度のお手伝いをします)

## 派遣



「発注先の従業員との混在作業」や「指揮命令を受ける作業」ができます。



▲ 荷受け作業



▲ プラスチック  
ごみ分別作業



▶ 水やり作業  
お花も元気  
です

## 職員紹介

### 青谷 忠喜

4月より、会員の皆さんがさらにレベルアップすることを目指して、楽しく実績のともなう講習会の世話係りをしています。



また、会員及び就業機会の拡大を図って市内全戸を目標にセンターのチラシを配布しています。

### 鈴木 優美

結婚を機に能代に引越しをし、7月からシルバー人材センターの臨時職員として、勤務しております。早速、各家庭へチラシの配布をさせて頂きました。

一日も早く、この町と皆様のお名前を覚えて頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。




ビフォー
アフター




草取り・枝切り



庭木剪定



障子・襖張り

編集  
後記

4月27日に青葉農園のじゃがいもの植え付けに参加しました。  
 女性4人はじゃがいもを切り、初心者の私は灰をつける役でした。男性5人は植え付けです。6月7日は肥料をやり、土を寄せた時にくれた葉を上に出して茎を2本立てになるよう切り取りました。じゃがいもも収穫まで手間がかかるのにはあどろきです。

作業終了後、「枝豆、さつまいも、かぼちゃも立派に育つといいね」と大きな声で笑いながら話をして来ました。皆さん、とても元気です。

啓発広報委員 青 山 シゲ子